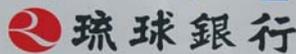
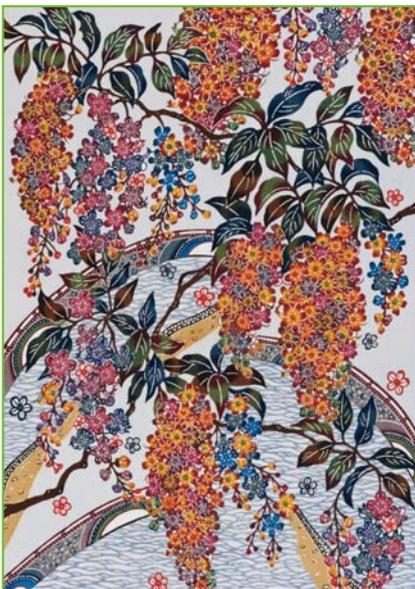


紅型デザインコンテスト入賞作品の対外的活用 「かりゆしウェア」記者発表



紅型デザインコンテスト
入賞作品が「かりゆしウェア」
の絵柄に



「かりゆしウェア」に使用した作品
第18回(2009年)紅型デザインコンテスト大賞作品
「黄金雨(ゴールデンシャワー)」(作者 名越早織様)



「かりゆしウェア」に使用した作品
第4回(1995年)紅型デザイン公募展 最優秀賞作品
「花まるる」(作者 田中紀子様)



りゅうぎん紅型デザイン
コンテストのホームページ
[http://www.ryugin.co.jp/
kouken/bingata/18/
bingata18.htm](http://www.ryugin.co.jp/kouken/bingata/18/bingata18.htm)

琉球銀行では「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」の入賞作品をこれまで当行の通帳やカレンダーなどに利用していましたが、2010年より入賞作品のデザイン使用を対外的に認め、当行以外でもご活用いただけるようになりました。

これは、営業店や紅型デザイン展にご来場のお客さまから「デザインコンテストの絵柄をかりゆしウェアやカーテンなどに使用できないか」というご意見、ご要望を実現化したものです。また、デザインコンテストは今年で19年目を迎え、入賞作品数も90を数えるまでになりました。

2010年4月6日には、対外的な活用第1号として、株式会社イワキ(社長 小林隆)による「かりゆしウェア」が完成し、当行と共同で披露会を開催しました。

今回の対外的なデザイン使用により、コンテスト入賞作品の多様な絵柄がいろいろな場面で活用され、紅型のさらなる振興につながることを期待しています。

※第17回(2008年)に事業名を従来の「りゅうぎん紅型デザイン公募展」から「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」に変更しています。

今年も開催 りゅうぎんキッズスクール

琉球銀行は、今年も県内の小学校6年生を対象に第8回「りゅうぎんキッズスクール」を開催します。

「りゅうぎんキッズスクール」は子どもたちがゲームを通して、経済の仕組みやお金の流れ、銀行の仕組みを楽しく学習し、適切な金融知識を身に付けることを目的に開催するもので、夏休みの「自由研究」の材料としても活用いただけます。

昨年8月の第7回は、沖縄県立博物館・美術館で3日間開催し、202名の小学6年生に参加しました。



琉球銀行は、今年も県内の小学校6年生を対象に第8回「りゅうぎんキッズスクール」を開催します。参加者からは、「お金のことや銀行の仕組みがわかった」「経済が身近なものとなり興味が増えた」など多くの感想をいただきました。

なお、「りゅうぎんキッズスクール」の募集開始につきましては7月中旬を予定しており、多くの小学生の参加をお待ちしています。

りゅうぎんでは、このような活動を通して地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行を目指してまいります。